



11.25
2022
VOL.240

3年ぶりに対面型の

駿輝祭を開催しました!

駿大生のリアルボイス

「あなたが今探りたい自分の可能性とは？」

第36回 駿輝祭

半年前以上前から駿輝祭実行委員が新型コロナ感染予防対策を検討し、リアル&オンライン開催の第36回駿輝祭が実現しました。
2年ぶりの現地開催となり、今年の駿輝祭実行委員の4年生以外は、ほぼ未経験でした。
また、ご参加いただく皆様に気持ちよくご来場いただけるよう、初めてWeb入場パスを導入するなど新たな対応にも追われてきました。
そんな実行委員の努力の甲斐あって、キャンパス内には、小さなお子様から大人まで大勢の皆様にご来場いただきました。
10月29日・30日の両日も秋晴れに恵まれ、大盛況となりました。





駿輝祭 2022年度学内展示(発表)表彰

駿輝祭における学内展示・発表を促進していくことを目的に、優れた展示や発表を行った団体に対し「理事長賞」「学長賞」「同窓会長賞(※)」「奨励賞」の表彰が行われました。

展示内容や学生の来場者への説明等の対応について評価を行い、各賞の受賞団体を決定するものです。



埼玉県内の鉄道の現状と課題

野村正弘ゼミ (メディア情報学部)

今回野村ゼミでは、博物館展示を学ぶ一環として「埼玉県内の鉄道の現状と課題」というタイトルのもと、県内の鉄道の起こりや現在問題となっている東西移動問題について調査し、展示をさせていただきました。

今年の野村ゼミ3年生は私1人のため、調査活動や展示物制作を全て1人で行わなければならず大変な面もたくさんありましたが、今回理事長賞を受賞させていただき、頑張った甲斐があったと思うことができました。

神頭 元氣

(メディア情報学部3年・山村学園高校出身)



城井光広ゼミ

城井光広ゼミ (メディア情報学部)

城井ゼミは実際に遊べるビー玉転がしや独特の雰囲気のもビルなど、木材を使用して制作したおもちゃを展示しました。特にこだわった点はそのおもちゃの展示方法で、個性ある皆の作品をどのように教室内で配置して魅力的に見せられるかを追求しました。時間と工夫をかけたつくりあげた作品や展示が、名誉ある学長賞を頂くことができ、大変光栄です。

和知 春陽

(メディア情報学部3年・浦和実業学園高校出身)



※「同窓会長賞」は、来場した同窓生(卒業生)にアンケートを配付し、投票の多かった団体を表彰。



Emotions

～架空アーティストによる合同ライブ～

井上智史ゼミ (メディア情報学部)

私たちは、ゼミでグラフィックデザインを学んでいます。駿輝祭では、メンバー全員で作品の企画・コンセプトから考え世界観を作り込み、キャラクター・ポスター・パネル・グッズなどの制作から展示までをやり切りました。頭の中で考えたことが具体的な形・展示になったことが嬉しかったです。また、多くの方に見ていただき貴重な経験ができました。



平田 紳次

(法学部3年・東京都立文京盲学校出身)



実は違法なもの展

法律相談部

身近なものから、これは誰も知らないのではというものまでの「実は違法なもの」を集めました。法律相談部として初めての取り組みでしたが、多くの方から「ええ〜!」と驚きの声を頂きました。法律を身近なものとして感じられたのではないのでしょうか。

2日間にわたり、ご来場頂きました皆様、本当にありがとうございました。

伊藤 結音

(心理学部1年・埼玉県立草加高校出身)



ゲーム・活動実績の展示

シェリアク

シェリアクでは、サークルで作成したゲームの展示と、サークル員が取得・挑戦中のコンピュータ関連の資格を一覧にして掲示しました。

来場してくださった皆様楽しんでゲームをプレイしてください、とても嬉しく思います。

また、奨励賞をいただいたことでサークル員一同、より良いゲーム作成に向けて励みきっかけになりました。最後になりますが、ご来場いただいた皆様感謝申し上げます。

伊藤 結音

(心理学部1年・埼玉県立草加高校出身)



駿大生のリアルボイス

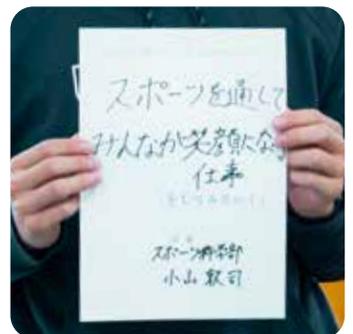
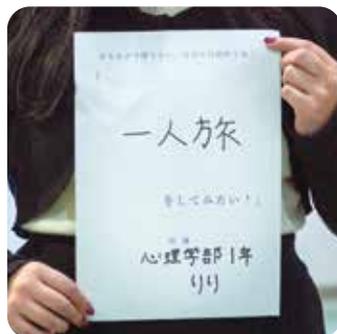
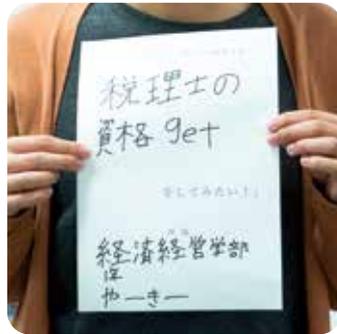
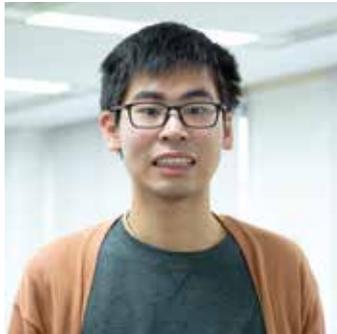


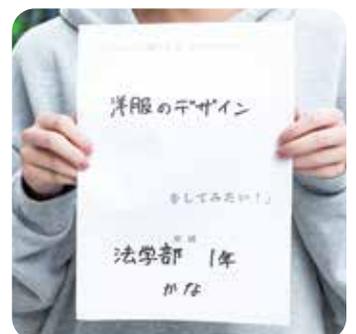
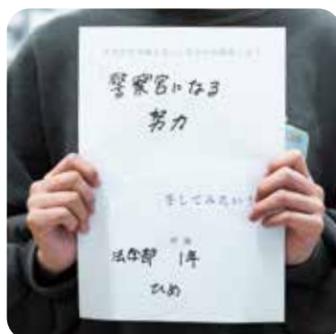
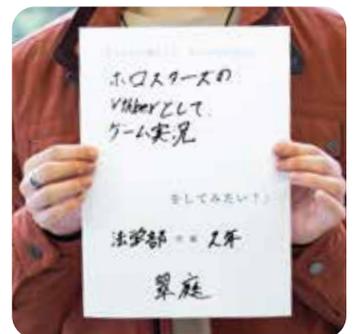
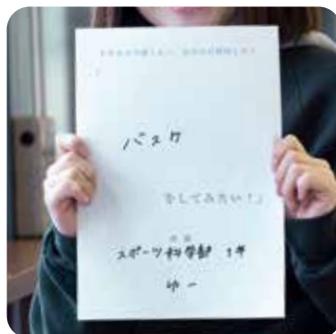
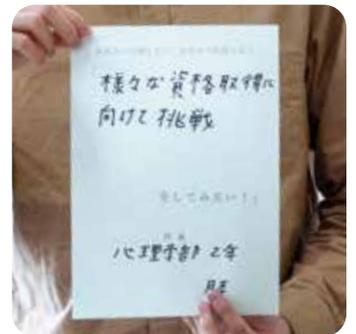
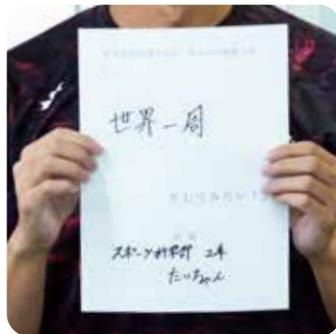
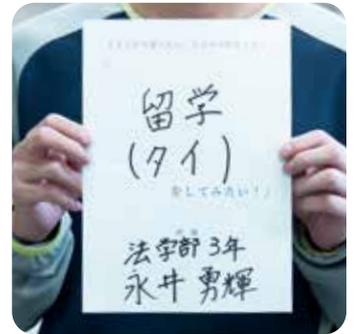
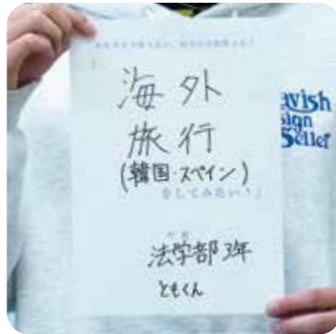
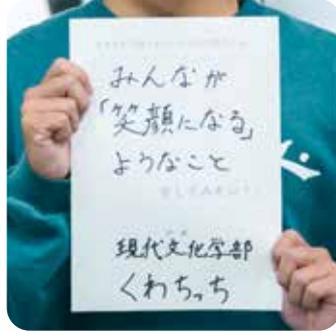
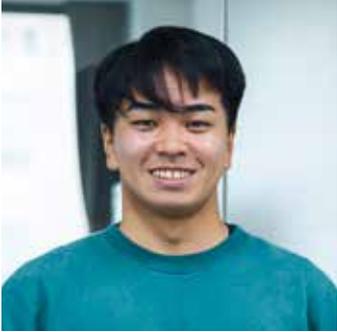
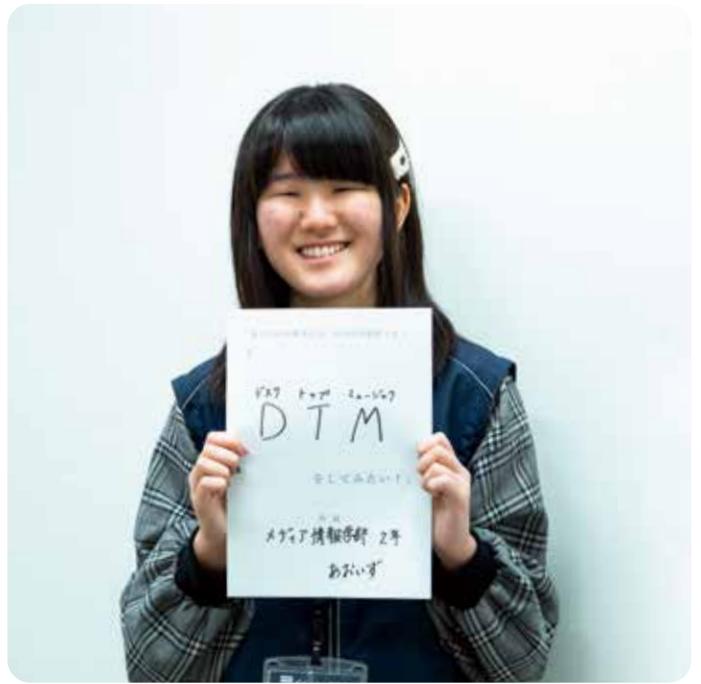
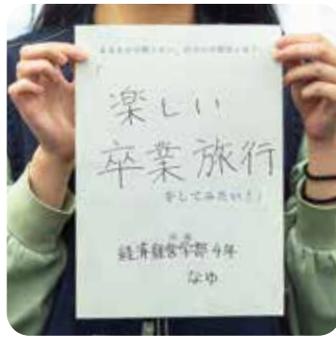
—あなたが今探りたい、自分の可能性とは？—

コロナ禍で長期間オンライン授業が実施されていましたが、本学は、2022年度秋学期から全面的に対面授業を再開し、秋の紅葉が色づいていく中、キャンパス内に学生の声が響き合うようになりました。

そこで、学生に直撃インタビューを行い、「今やりたいこと」「今探りたい自分の可能性」について紙に書いてもらいました。

学生が無我夢中になるキーワードから、充実した駿大生の今が見えてきます。





※撮影:メディア情報学部2年 丸地 勇輔

「就活応援サポーター」が活動を開始します！

公務員試験に合格した4年生や就職活動で企業・団体から内定を獲得した4年生の有志メンバーが「就活応援サポーター」を結成しました！後輩の皆さんに向けて、就職活動や公務員試験対策のアドバイスをオンラインイベントで発信していきます！「就活応援サポーター」の活動期間は10月から来年2月までの約半年間を予定しています。3年生にとっては、この期間は就活・試験準備の重要な期間となります。内定・合格を決めた先輩たちから情報収集をして自身の就活・試験準備に役立てましょう！また、1年生や2年生の皆さんにとっては大学の先輩と交流を深め、今後の就活や試験のリアルな話が聞ける貴重な機会です。ぜひ活用していきましょう！

「就活応援サポーター」の最新の活動予定は、キャリアセンターのホームページをご覧ください。



キャリアセンターより from the Career Center



橋本 裕輝

内定先:IT業界

法学部4年
新潟県立新潟江南高校出身

皆さんは「就職活動」という言葉を聞いてどのようなことをイメージしますか。私は、漠然と大変そうというイメージを持っていました。そして、就職活動をしている時は、長所を見つけることができなかつたり、未熟さを痛感することがあつたりして大変でした。しかし、就職活動を終わらせた今はそれらの苦しかったことも含めて楽しかったなと感じています。これから2月までの間、自分の就職活動の体験を活かし、皆さんをサポートできるよう精一杯努力します。



平沼 祐哉

内定先:金融業界

経済経営学部4年
埼玉県立入間向陽高校出身

皆さんこんにちは！就職活動の状況はいかがでしょう。就職活動中は緊張や不安から気持ちの浮き沈みが激しくなる時期かと思えます。私はサポーターとして皆さんの就職活動を全力でサポートさせていただきますが、就活のことだけでなく何でもフランクに聞いてください。また就職活動に取り組まれる皆さんは無限の可能性を秘めていると思います。是非とも前向きに就職活動に取り組んでいただき、自分自身を積極的に売り込んでください！！



川田 優理香

内定先:JA

メディア情報学部4年
埼玉県立新座高校出身

就職活動は長く負担がかかる辛い時期です。何をすればいいのか分からない、興味のある分野や自分に向けた仕事ってなんだろうと悩むこともあると思います。そういった時は一人で考え込まないで、友達に相談したりキャリアセンターの方に話してみたりなど自分以外の意見を取り入れてみると新しい発見や気分転換となるのでオススメです。後悔のない就職活動になるように応援しています。無理のない範囲で頑張ってください！！



前澤 明日香

内定先:商社業界

現代文化学部4年
埼玉県立朝霞西高校出身

現在、就職活動をしている皆さんの中には、多くの不安を抱えている方もいると思います。でも大丈夫です！皆さんの周りにはキャリアセンターの方に相談できる環境が整っています。不安なことがあつたら周りに相談し、無理のないペースで取り組んでいきましょう！私も面接や企業のことなど不安に感じる事があれば都度相談をしていました。就職活動は大変なことばかりではなく、自分自身を成長させてくれる人生で大切な経験になります。私も皆さんのこの貴重な経験がより良いものになるように応援しています！



早船 来望

内定先:商社業界

心理学部4年
埼玉県立川口高校出身

私の就職活動のスタートは遅く、3年生の3月に初めて企業にエントリーをしました。「就職活動は1人でやるものだ」と思っている人もいます。自分の道だからこそ周りの大人やキャリアセンターをうまく頼って納得いく就職活動を楽しんでほしいです。お手本になるような就職活動をしていない私だからこそ、やり方が分からずに悩んでいる就活生の力になれると思います。「何から始めたらいいのか分からない」と悩んでいる方は気軽に相談してください。

グローバル教育センターより from the Global Education Center

外国人留学生交流企画「京都旅行」に行ってきました！



1

9月6日、7日に京都への学生旅行を実施しました。久しぶりの実施でしたが、参加者は外国人留学生を中心に43名(日本人学生5名及び教職員を含む)でした。出発前から体温チェック、当日朝には抗原検査を実施するなど感染対策を十分に行い、心躍らせながら新幹線で東京駅から京都に向かいました。

初日は、清水寺と三十三間堂そして金閣寺と雅な京都を満喫することができました。その後、希望者は錦市場と四条河原町を散策しながら夜の京都を楽しみました。残念ながら、一部雨に見舞われましたが、雨の京都も悪くないと思わせるような風景がそこには広がっていました。初めは少し緊張していた学生たちも少しずつ慣れてきたようで、観光や土産物を買いながら交流を深めていく様子はとても微笑ましかったです。

2日目は、ホテルで朝食バイキングを堪能した後に、河村能舞台での能体験教室と京都御所、そして嵐山を散策しました。とくに能体験は日本の伝統芸能を肌で感じることができる貴重な経験となり、学生たちからも大変好評でした。2日目は天気にも恵まれ、嵐山周辺の渡月橋や嵯峨野竹林の散策には最高の1日となり、学生たちはたくさんの土産物袋をかかえながら最後まで京都を満喫することができました。帰宅するまでが旅行ということで体調不良者などを1人も出すことなく、東京駅に無事に到着して解散となりました。

マスク着用はもちろん、黙食やソーシャルディスタンスなどを守りながらの旅は、まだまだ不便を感じることも多かったかもしれません。それでも留学生はもちろん、日本人学生、教職員たちも交流を深めるなかで互いの新しい顔を見つけることができたと思います。グローバル教育センターでは、今後も様々な企画を実施する予定です。学生のみ皆さんの参加はもちろん、積極的にアイデアも出してもらえれば、それを叶えられるように教職員みんなで動いていこうと思います。



2

1・3 清水寺 2・6 河村能舞台での能体験 4 京都御所
5 四条河原町付近の散策 7 嵐山・渡月橋前 8 金閣寺

グローバル教育センター講師 木下裕太(英語担当)



3



4



5



6



7



8

SUNDAI SPORT Information

卒業生 樋口正修選手 中日ドラゴンズより育成3位指名！

念願のNPBへ!!

2022年10月20日(木)に開催されたプロ野球ドラフト会議において、本学卒業生の樋口正修選手(21年経済経営学部卒 埼玉武蔵ヒートパアーズ所属)が中日ドラゴンズより育成3位で指名されました。

樋口選手は埼玉県立北本高校出身。本学硬式野球部では俊足好打の内野手として1年生よりレギュラーとして活躍。卒業の年、BCL(ベースボール・チャレンジ・リーグ)2020ドラフト会議で埼玉武蔵ヒートパアーズより指名を受け、独立リーグへ進みました。

指名直後の樋口選手の記者会見の様子は、

指名を受けて

嬉しい。まだフワフワしている。ここに来るまで、多くの方々にお世話になった。自分ひとりの力ではない。両親にはわがままを言って野球をやらせてもらった。感謝しかない。また、指導をしてくださった方々、無名の自分を応援してくれた方々にも感謝したい。スタートラインに立てた。人一倍努力をして自分のアピールポイントを見せたい。

中日ドラゴンズについて

練習が厳しいとお聞きしている。僕は厳しいと燃えるタイプなので、喰らいついて勝ち上がっていききたい。



どんな選手を目指すか

守備と足だけは絶対に負けない。樋口が守れば大丈夫、塁に出れば盗塁するといわれるようになりたい。

角見多監督 樋口選手は入団時は1番下手だった。が、この2年、誰よりも練習をした。今回の指名は、練習は嘘をつかないの証明。ここがゴールではなくスタート。育成の競争は厳しいが、独立リーグで勝ち上がった心意気に期待したい。彼の足を活かしてホップステップジャンプで活躍して欲しい。

樋口選手の脚力は一塁到達タイムが3.5秒台とNPBでもトップクラスを誇ります。そこには、本学陸上競技部の邑木隆二監督(スポーツ科学部講師)も指導に役買っています。2年目となる今シーズンは、58試合に出場し打率3割8厘、盗塁25の好成績をマークしました。

ヒートパアーズへの入団が決まった際のインタビューで「レギュラーになること、タイトルをとれる選手になること、そしてやはりNPBに

進むことが夢」と語った樋口選手。努力の末、その夢は叶いました。そして、さらに大きな夢を目指して挑戦が始まります。

今後とも、樋口正修選手の応援をよろしくお願いします。



角見多監督(右)と

駅伝部 箱根駅伝予選会19位 2年連続本戦出場かなわず

10月15日(土)、第99回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)予選会が行われました。会場は3年ぶりに、立川市の市街地コースが復活しました。

レースは、ムサンガゴッドフリー選手が先頭集団でチームをリードし、その後本戦経験者の清野太成選手、町田康誠選手が引っ張ります。

しかし、中盤以降はなかなか順位を上げられず、結果、10人の合計タイムが10時間56分07秒で、総合19位となりました。

残念ながら2年連続の本戦出場はかないませんでした。応援いただいた皆様、本当にありがとうございました。

メディアセンター

from the Media Center
より

本学では、丸善雄松堂株式会社が提供するMaruzen eBook Libraryの電子書籍を利用しています。現在、135のタイトルが学内・学外から全文閲覧可能です。詳しい利用方法は、メディアセンターのホームページ(図書エリア→電子書籍)に掲載されています。未所蔵タイトルの購入リクエストも承っていますので、ぜひ、皆さんの学修にお役立てください。

電子書籍を利用しよう!

利用が多い電子書籍(2022年8月末時点)

- ・TOEIC L&Rテスト究極の模試600問+ / アルク
- ・リーディングス刑事政策 = Readings in criminal justice policy / 法律文化社
- ・犯罪学入門 ―ガバナンス・社会安全政策のアプローチ / 慶應義塾大学出版会
- ・健康・スポーツ科学のための卒業論文/修士論文の書き方 / 杏林書院
- ・面接担当者の質問の意図 2023年度版(内定獲得のメソッド) / マイナビ出版

電子書籍のいいところを聞きました

スマホから手軽にアクセスでき、片手で読めるコンパクトさが好きです!

何時でも利用できるの、多くの人が使えます!

紙だと借りることを躊躇してしまいがちな大型の本でも、電子書籍なら手軽に読めるところが良いです!

